



2016年2月5日

各 位

会 社 名 エスアールジータカミヤ株式会社
代表者名 代表取締役社長 高 宮 一 雅
(コード番号2445 東証第一部)
問合せ先 取締役兼常務執行役員
経営企画室長 安 田 秀 樹
(TEL. 06-6375-3918)

株式会社果実堂との業務協力協定の締結に関するお知らせ

当社と株式会社果実堂（本社：熊本県上益城郡益城町、代表取締役社長：井出剛、以下「果実堂」）は、新型ビニールハウスの開発及び販売に関する業務協力協定を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 協定の目的及び概要

我が国の農業は、急激な少子高齢化に伴い効率化が求められる分野であり、農業における技術革新は社会的課題となっております。

当社グループは建設用仮設機材の総合企業であり、子会社であるホリー株式会社にて建設用仮設機材の生産を行っております。建設用足場の開発・製造で培った金属加工技術を活用した新規事業を模索してまいりましたが、この度、アグリ事業分野へ進出することといたしました。

協定相手先である果実堂は、2005年に設立されたアグリベンチャー企業であり、熊本県内でベビーリーフ（野菜の幼葉の総称）の大規模栽培を行っております。耕作放棄地を活用し、土壌分析、水管理、温湿度管理といった栽培ノウハウを保有する、国内最大のベビーリーフ生産会社であります。

この度、当社グループが持つ金属加工技術と、果実堂が持つベビーリーフ栽培技術を組み合わせ、業界初となるベビーリーフ14回転（14毛作）を可能とする新型ビニールハウス「高瀬式14回転ハウス」の開発に着手することになりました。

今後、両社の技術を組み合わせ、効率の良い生産技術、生産設備の開発に取り組んでまいります。

2. 協定相手先の概要

(1) 商 号	株式会社果実堂
(2) 本店所在地	熊本県上益城郡益城町田原1155-5 熊本テクノリサーチパーク内
(3) 代表者名	代表取締役社長 井出 剛
(4) 事業内容	大規模ベビーリーフの生産、販売 機能性発芽食品の開発、製造、販売
(5) 資本金	97,397千円

3. 「高瀬式14回転ハウス」の概要

自動灌水・自動換気による環境制御、独自の耐風圧設計を特徴としております。既に熊本県菊池郡菊陽町に14棟（6,956㎡）が本格稼働しており、果実堂が保有する一般的なビニールハウスに比べて、25%以上の収量向上効果を実証しております。また、2015年8月25日に熊本県を直撃した台風15号の際には、風速40mの強風により近隣ハウスで倒壊等の被害があった中、当ハウスは無傷で出荷を継続し、屋外栽培の最大のリスクである台風に対して効果があることを実証しております。果実堂においては、今後3年間で当ハウス100棟（50,000㎡）を、建設及び建替える予定であります。



4. 今後の見通し

当該協定締結による当期連結業績への影響につきましては、軽微の見通しではありますが、今後の業績に影響を与えると判断した場合には、適宜開示してまいります。

以上